

ノヒメユリ

Lilium callosum Sieb. et Zucc.

ユリ科
Liliaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 全国的に分布域が狭く、本県においても生育の確認できる所は極めて希である。生育地の草原が植林されたり、人工牧野などに改変され、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 (英彦山・犬ヶ岳山地), 津江山地, (九重火山群), 大野川上流域, (豊後水道後背地域)

分布域 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
朝鮮半島,台湾,中国・中国(東北部),ウスリー

生育環境 丘陵地や低山地のやや湿った半自然草原。

現 状 「英彦山・犬ヶ岳山地」,「九重火山群」,「豊後水道後背地域」の標本や記録はあるが、その生育地は把握されていない。現存する生育地の個体数は極めて少ない。

備 考 国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 日豊海岸, 祖母傾]

ヒメユリ

Lilium concolor Salisb. var. *partheneion*
(Sieb. et de Vriese) Baker

ユリ科
Liliaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 IB

選定理由 県内の生育地は点在し、個体数は極めて少ない。草原や湿地の開発、人による採集で生育地は年々減少しており、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域

分布域 本州, 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
朝鮮半島, 中国(東北部)

生育環境 丘陵地や低地の草地。

現 状 繁殖力が弱く、草原、湿地の管理放棄や人による採集で、消滅した生育地が多い。

備 考 大陸系遺存植物。国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 祖母傾]

キバナノコオニユリ

Lilium leichtlinii Hook. fil.

ユリ科
Liliaceae

カテゴリー

大分県 IA
環境庁 掲載なし

選定理由 県内の生育地は、かつては島の数が所に生え、個体数もかなりみられたが、人に採取され、人の手が届かない崖の高所にごくわずか残っている。島はキャンプ地となっていて、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布 豊後水道域

分布域 本州,九州(大分)

生育環境 海岸の崖地。

現 状 生育地、個体数とも極めて僅少。絶滅寸前の状態である。

備 考 分布域が極めて狭く、隔離分布し、本県は、分布の南限域にあたる。